

災害に備える ～愛犬家ファミリー編～

日本各地で大きな地震やゲリラ豪雨などの災害が起こっています。災害はいつ起きるかわかりません。でも、自分の身の上には起こらないと漠然と考えている人も多いのでは？また、人用の避難袋や家具の転倒防止対策などは一応してあるけれど……というあなたも、愛犬のための災害準備は大丈夫でしょうか？昔から、「備えあれば憂いなし」と言うように、今できることを準備しておきましょう。

まずは普段の生活から、基本的なしつけと心掛け

■多くの人が集まる避難所

愛犬の行動を飼い主がコントロールできるようにしておきましょう。また、ノミ・ダニ予防、ワクチンや狂犬病の予防接種を日ごろからきちんと受けておきましょう。

■他にもたくさんのペットがいる

避妊・去勢手術をしておくという選択も、準備のひとつ。

■クレートやキャリーに入ることができる？

クレートやキャリーで静かにしていることができれば、避難所によっては一緒に避難出来る可能性も。普段からクレートやキャリーを愛犬にとって安心できる場所にしておきましょう。

■ご近所づきあいは大切に

近所の人に愛犬の存在を知っててもらえれば、留守中に災害が起こった時も、助けてもらえるかもしれません。

愛犬用非常持ち出し袋を作っておきましょう

■生活用品

3日分のフードやいつものお水、フードボウル、多めのウンチ袋、トイレシートなど。

■あると安心

普段使用している愛犬の臭いがついたタオル類や敷物などがあると安心です。

■リード・首輪・鑑札・迷子札(身元が分かるもの)

■「愛犬の健康手帳」

年齢、かかりつけの獣医さんの連絡先、ワクチンの種類や接種日、病歴、常備薬、不妊・去勢手術済みか否か、普段の様子などの情報を記入しておく。自分と一緒に写っている写真などを貼り、携帯電話の番号、緊急連絡先を書いておく。

■救急セット



ミニコラム

自分の今住んでいる街が大地震に遭う確率をご存知ですか？

この先、「住んでいる地域が大地震に遭う確率がどのくらいなのか？」を知りたいければ、防災科学技術研究所「地震ハザードステーションJ-SHIS」<http://www.j-shis.bosai.go.jp/>を検索してみてください。大地震が起こる確率を、今後30年、50年の期間で教えてください。全国を250m四方の細かさで地図上に表示してくれていて、住所を入力すれば知りたい地域がすぐに探せます。たとえば「東京都千代田区大手町」で今後30年の間に起きる確率を調べると、震度5弱以上は99.9%、震度6弱以上は44.8%といった情報を瞬時に教えてください。ご自身のエリアを調べるのはちょっと怖い気もしますが、「備えあれば憂いなし」です。勇気を出して調べてみましょう！

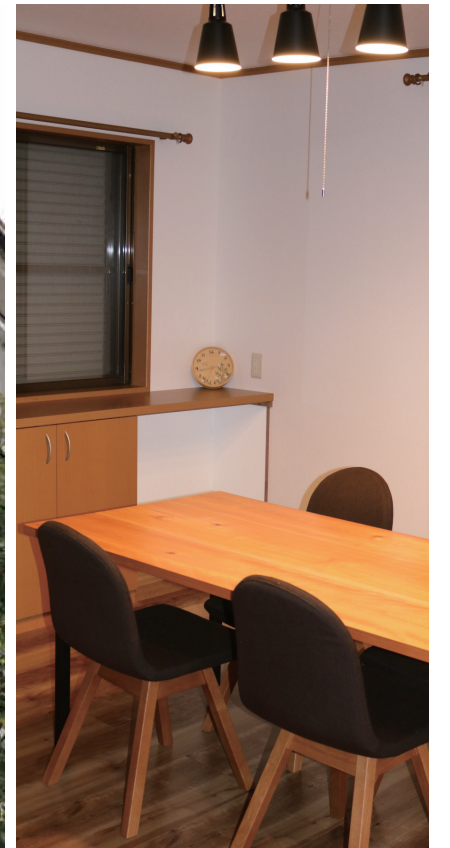
Aikenka Navigation

愛犬家住宅ナビゲーション



AJutaku

Vol.31 || Free



中古住宅をリノベーション！

「中古住宅を愛犬仕様にリノベーション」 今の間取りにちょっと工夫するだけで暮らしが変わる!!

最近では、「中古住宅を購入してリノベーションする」というケースが増えてきました。中古住宅を購入してリノベーションをするメリットとしては、①価格が安い。②立地が良い。③固定資産税などの税金が安い。といったものが挙げられます。反対にデメリットとしては、①間取りが古い。②家の中身がどうなっているか分かりづらい。③老朽化がどれくらい進んでいるか分かりづらい。といったものがあると思います。そんな中、メリットの部分を活かし、希望の立地で格安の物件を探し、リノベーションすることによって、理想の暮らしを手にする若い世代が増えてきているようです。そして、その中でもお客様からの支持が高いものに「愛犬との暮らしを想定したリノベーション」があります。

中古住宅を購入する際は、築20年程度の物件が対象となりますが、昔ながらの間取りが多く、当然、ペットと暮らすことを想定した作りの物件に出会うことはほとんどありません。

今では当たり前になった、室内で愛犬と暮らすというライフスタイルも、ホンの少し前までは日本では浸透しておらず、庭に犬小屋を作って外で飼うというケースが多かったからでしょう。

そこで、中古住宅を購入された施主が、購入の段階で、最初から愛犬と暮らすことを想定したリノベーションを行うことが増えてきたのです。ただ単純に設備を一新するだけのリフォームではなく、「愛犬と一緒に暮らす」というテーマを加えたリノベーションをすることにより、人間と愛犬の暮らしやすさはもちろん、費用の面でも、「リフォームしてから、さらに愛犬のための設備を購入する方法」よりも安価で実現することが可能になり、また機能面でも無駄のない間取りや設備が手に入るというメリットがあります。今回ご紹介する愛犬家住宅リノベーションでも、いろいろな工夫が施されていますので、参考にいただければ幸いです。

愛犬家の快適な住まいづくりを応援します
愛犬家住宅
愛犬家住宅 検索

お問い合わせ先



愛犬の居場所と、暮らし心地を良くする工夫。

室内で愛犬と暮らすために考えなければならない「愛犬の暮らしやすさ」には、大きく分けて、「居場所」と「生活のしやすさ」があります。愛犬にとって「自分の居場所」があることは精神的にも安定するもので、なるべく家族の姿が視野に入る場所にスペースを確保してあげることが望ましいと言われています。今回のお宅では、キッチン横のスペース（階段下のスペース）を有効活用し、愛犬がいつでも家族の気配を感じながら寛げる居場所を確保しました。また、上部の大きな収納スペースには、愛犬のためのグッズを収納でき見た目もスッキリした愛犬のためのスペースとして生まれ変わりました。

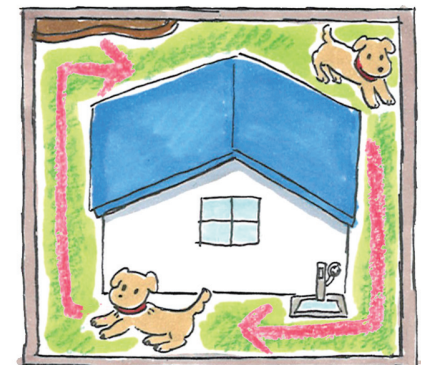
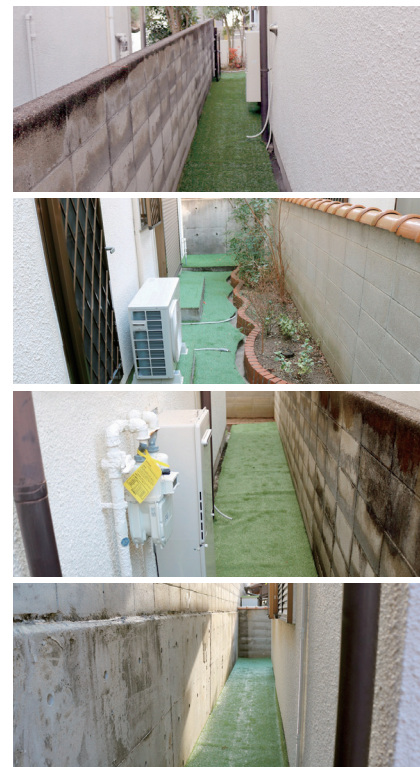
もう一つ、気を付けたいものに「床材」があります。中古住宅の床は古く損傷や汚れが目立つものが多いため、愛犬が怪我をすることもあります。そういったことへの配慮から、愛犬が生活する1階部分の床材には、汚れや傷がつきにくく、消臭機能のある床材を使用し、人にも愛犬にも優しい空間を作りました。



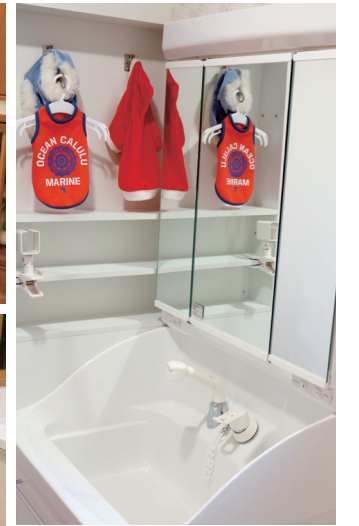
お庭のない一戸建てでも、「簡単にできる小さなドッグラン」でストレス軽減!

お庭の広い中古住宅を購入される場合は自由に走り回れるスペースを十分確保できるので問題ありませんが、立地の良い環境に建つ一戸建てではお庭が無いといったケースがしばしばあります。今回の建物もお庭が無く、愛犬にとっては少々ストレスが溜まってしまいう懸念がありました。そこで、少しでも愛犬のストレスを軽減させてあげられるよう、建物の周りを整理し、狭いスペースながらも、家の周りを一周できるドッグランを造ることにしました。人工芝を敷くことによって、愛犬の足への負担を軽減することができ、メンテナンスでは、天然芝のような芝刈りや肥料散布などの手間もないため、メリットがいっぱいです。

また、玄関の横には洗い場を造作し、散歩帰りの汚れも落とせるように工夫しました。



隣地との幅が狭く、お庭の無いお家でも工夫次第で小さなドッグランを造ることが可能。水栓を付けることで汚れも水遊びも出来るようになりました。



▲愛犬も洗える洗面化粧台 Bonito 900 幅タイプ



通常のリフォームにちょっとプラスするだけで、「人も愛犬も快適な空間」へ。それが愛犬家住宅リノベーション。

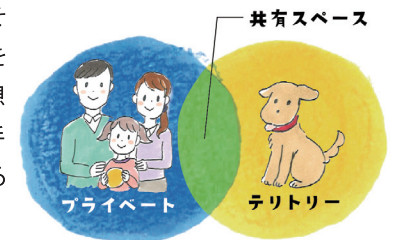
中古住宅を購入して行うリフォームの1つに水廻りの設備を一新するケースがありますが、愛犬家住宅リノベーションであれば、洗面台も愛犬のために開発されたものを設置することが可能になります。一戸建てに暮らす多くの愛犬家は浴室でシャンプーをしてドライヤーをするため、姿勢が大変ですが、この洗面台であれば立ったままお手入れができ、洗面横の収納も愛犬家にうれしい特別仕様で使い勝手も良くなりました。

その他にも、キッチンに愛犬が入れないようにするフェンスやダイニングにある収納棚にちょっとした工夫を施して、家族団樂の食事でも愛犬と一緒に楽しめ、片付けも簡単に出来るようになりました。

家族と愛犬の生活スタイルを事前に考え、「愛犬の安心

できるテリトリー」、「人と愛犬と一緒に暮らす共有スペース」そして、「愛犬が入れない、人のプライベートスペース」を造ることによって、お互いが快適に暮らすことのできる「愛犬家住宅」が出来るようになります。

リノベーションでは、限られたスペースで家族の想いをカタチにしなければならないため、工夫やアイデアがとても大切になります。そのためには、「人も愛犬も快適な空間」といった1つのテーマに絞り、そのために何が出来るかを考えることが、家族の想い描いたマイホームを手に入れることにつながるのではないのでしょうか。



設計・愛犬家住宅コーディネーター 佐藤 朋子



愛犬と幸せに暮らす住まいの本

A5判並製・128ページ(オールカラー) 定価：本体1,500円+税
愛犬家住宅【編】PHP研究所【刊】

「床の滑り」「ニオイ」「キズ・汚れ」…
だけじゃない!



家づくりのヒントとなる21の事例を紹介

